

# 愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2024年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	専門演習Ⅲ		
担当者(Instructors)	伊藤 数馬	配当年次(Dividend year)	4
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	必修

## ■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

小学校体育科や幼稚園・保育所における運動遊びの教育実践や保育実践について、先行研究や先行文献等の検討を通して、分析力や開発力を高めることを目的としている。また、グループによる教材開発や、それを用いた実践のシュミレーションを行う。

## ■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	演習形式で行う。卒業研究に必要な知識、技能を学ぶ。講義の内容に応じて、ディスカッション及びグループワークを取り入れる。

## ■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	オリエンテーションー体育科教育、運動遊びの基礎理論とはー	小学校体育科や幼稚園・保育所における運動遊びの教材開発をどのように進めるかについて説明、グループ編成を行う。	<input type="checkbox"/>
第2回	教育実践事例の収集、紹介	教育実践事例を収集し、紹介する。	<input type="checkbox"/>
第3回	保育実践事例の収集、紹介	保育実践事例を収集し、紹介する。	<input type="checkbox"/>
第4回	教育実践事例の討議、検討	収集した教育実践事例について討議、検討する。	<input type="checkbox"/>
第5回	保育実践事例の討議、検討	収集した保育実践事例について討議、検討する。	<input type="checkbox"/>
第6回	教育実践・保育実践事例のまとめ	教育実践・保育実践事例の討議、検討結果のまとめを行う。	<input type="checkbox"/>
第7回	中間報告会	グループ単位で、教材開発についての現状を報告する。	<input type="checkbox"/>
第8回	教材テーマの考察	何を教えるかを選択し、テーマに関する資料収集を行う。	<input type="checkbox"/>
第9回	教材テーマの仮決定と開発・計画・立案	各グループで、テーマに関連する施設・機関との連絡・調整をはかる。	<input type="checkbox"/>
第10回	教材テーマと作成計画の決定	各グループ単位で、テーマに関連する施設・機関と連携しながら計画を進める。	<input type="checkbox"/>
第11回	教育実践プレゼンテーションの計画を立てる	教育実践についてのプレゼンテーションの計画を立てる。	<input type="checkbox"/>
第12回	プレゼンテーション(発表会)の最終準備・グループ原稿(レポート)完成	各グループで、プレゼンテーションの最終準備とグループ原稿(レポート)を完成させる。	<input type="checkbox"/>
第13回	発表会(プレゼンテーション)Aグループ	グループ単位で、プレゼンテーションを行う。	<input type="checkbox"/>
第14回	発表会(プレゼンテーション)Bグループ	グループ単位で、プレゼンテーションを行う。	<input type="checkbox"/>
第15回	まとめとグループ内発表	総括としてレポートを作成する。	<input type="checkbox"/>

## ■授業時間外学習(予習・復習)の内容(Preparation/review details)

体育科授業及び運動遊びについての教材開発に関心を持ち、教育実践・保育実践に対する意欲を高める(2時間程度)。講義内で扱った教育実践事例を振り返り、考察する(2時間程度)。

## ■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

学生たちが各々の発表について意見を出し合う、また教員が解説や補足することにより、改善に向けてのフィードバックを行う。

## ■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◇ 2019子ども発達DP1	自らの関心に基づき文献・資料・データを収集して問題点を指摘する。 卒業研究のテーマを設定し、各自の適切な方法によって研究を遂行することができる。
思考力・判断力・表現力	◆ 2019子ども発達DP2	体育科授業や運動遊びなどの問題を研究課題として関心をもつことができる。

■成績評価(Evaluation method)				
筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			60%	40%
<b>授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)</b> 授業内で扱ったテーマについて、概要を調査し、自分の考えをまとめ、レポートを作成する。				

■テキスト(Textbooks)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	講義時に適宜配布する。	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	講義時に適宜紹介する。	
2		
3		
4		
5		